



FIRST
CAREER

デジタルシフトに対応 社内研修DXスキルアップセミナー

実施ご報告レポート

Activate Your Potential

Copyright© All Rights Reserved by FIRST CAREER, Inc.

藤野 貴教 (ふじの たかのり) 株式会社働きごち研究所 代表取締役、ワークスタイルクリエイター



アクセント、人事コンサルティング会社を経て、東証マザーズ上場のIT企業において、人事採用・組織活性・新規事業開発・営業MGRを経験

2007年、株式会社働きごち研究所を設立。「働いて楽しい！」と感じられる働きごちのよい組織づくりの支援を実践中。「今までにないクリエイティブなやり方」を提案する採用コンサルタントとしても活躍。グロービス経営大学院MBA

2015年より「テクノロジーの進化と人間の働き方の進化」をメイン研究領域としている。日本のビジネスパーソンテクノロジーリテラシーを高め、人工知能時代のビジネスリーダーを育てることを志として、全力で取り組んでいる

【著書】

「2020年人工知能時代 僕たちの幸せな働き方」(かんき出版、2017年)

AIの専門家 # テクノロジー活用 # 教育変革

【要チェックポイント】

👉 『書くことで伝える時代』。これこそ、生産性の高いオンライン仕事術の本質

- オンラインミーティングで意思疎通をする話す力・聞く力
- 「空中戦」になりがちなオンラインミーティング。「可視化」させる文章力
- リアルタイムでコメントを書くスピード
- たくさんの意見を、数点に絞ってまとめていく構成力

👉 『ユーザーエクスペリエンスの設計・向上』がカギ

- オンラインファシリテーションを受ける側の良質なオンライン体験につながるよう、視覚と聴覚を使って参加者の状況を把握しながら適宜ファシリテーションを工夫していく
- 同時に、ファシリテーション側自身の、良質なオンライン体験の有無も重要！

櫻井 将 (さくらい まさる) エール株式会社 代表取締役



新卒でワークスアプリケーションズに入社。営業で社長賞を受賞後、人事総務部のマネージャーを経て、GCストーリーでは営業・新規事業開発・子会社の責任者を歴任。両社でGPTW「働きがいのある会社」ランキングにてベストカンパニーを受賞。

2017年より現職。副業人材600名以上で構成する社外人材を活用したオンライン1on1サービス「YeLL」を展開し、2017年野村総合研究所主催のハッカソンbit.Connectにて最優秀賞。2019年HRアワード プロフェッショナル部門にて入賞。感覚的・定性的に語られがちな社内コミュニケーションを再現性のある状態まで科学する。

また、慶応義塾大学大学院SDMの研究者として「個の幸せと組織の生産性が両立するコミュニケーション」の研究を行う。

1on1変革 # コミュニケーションの再構築 # 組織活性化

【要チェックポイント】

👉 オンライン環境下においては、「内的刺激」が重要！

- 気づきを増やすための「外的刺激」と「内的刺激」。オンライン環境下においては、外的刺激を強める施策が打ちづらい
- 内的刺激（≒セルフ・アウェアネス）を増やす方法の1つとして、1on1に注目が集まっている

👉 1on1における課題感が強い“実行フェーズ”の壁は2つ！

- 1つ目：上司自身が良い1on1を受けた経験を持っていない
- 2つ目：上司にすべてを任せすぎ、利害関係による構造上の問題。「サポーター」「パートナー」「パイオニア」の3つの役割に分け、みんなで分担する仕組みをデザインしていくことがポイント
 - サポーター：相手の話を聴き、受けとめ、伴走する
 - パートナー：聞き合い、伝え合い、切磋琢磨し合う
 - バイオニア：訊かれたことに答える、自分の意見を伝える



第3部：思考を読み取る表情分析講座

清水建二（しみず けんじ） 株式会社空気を読むを科学する研究所代表取締役。防衛省講師



早稲田大学政治経済学部卒業後、東京大学大学院でメディア論やコミュニケーション論を学ぶ。学際情報学修士。日本国内にいる数少ない認定 FACS（Facial Action Coding System：顔面動作符号化システム）コーダーの一人。微表情読解に関する各種資格も保持している。20歳のときに巻き込まれた狂言誘拐事件をきっかけにウソや人の心の中に関心を持つ。現在、公官庁や企業で研修やコンサルタント活動を精力的に行っている。

【著書】

『ビジネスに効く 表情のつくり方』イースト・プレス、『「顔」と「しぐさ」で相手を見抜く』フォレスト出版、『0.2秒のホンネ 微表情を見抜く技術』飛鳥新社

微表情研究者 # 本音を見抜く # 観察力

【要チェックポイント】

👉 オンラインコミュニケーションは、表情分析・観察のチャンス！

- 表情で、空気感・雰囲気・相手の感情が分かる！
- オンラインコミュニケーションは、対面コミュニケーションよりも相手の顔を見て、観て、診て、じっくり話することができるチャンスの連続

👉 表情は感情の宝庫！

- 感情を見れば、相手の求めていることがわかる！
- コミュニケーションや育成場面においては、相手の理解度や興味関心の度合い、アドバイスや意見の受け入れ度合いを推察するためには、特徴的な表情の有無を見とめる
- 「熟考」と「驚き・興味・関心」、「嫌悪」と「軽蔑」を見分けてアプローチを変えていこう！